

サーモンピープル

アイヌのサケ捕獲権回復をめざして

太平洋をはさんで、サケと共に生きてきたサーモン
ピープル——その西のアイヌが、はるか対岸の北米
インディアンを訪ねて学び、きざした思いとは

自分たちも川でサケを獲りたい…

自分たちの川を取り戻したい…

そして2020年夏、彼らはアイヌ先住権回復をめ
ざして裁判に踏み出します



サーモンピープル

アイヌのサケ捕獲権回復をめざして

Journey to the "Salmon people"

ラポロアイヌネイション
北大開示文書研究会

日本の先住民族であるアイヌ民族に経済的な漁業権を含めた先住権があることは、北海道島におけるアイヌ民族の歴史が明確に示しています。…ラポロアイヌネイションとしての運動が、アイヌ民族の先住権の回復に大きく寄与する一歩となることを期待せずにいられません。そしてその取組みは、長期的にはSDGs（持続可能な開発目標）と結びついた、地球社会が取り組むべき世代を超えた課題でもあるのです。

〔北海道大学アイヌ・先住民研究センター長 加藤博文——本文より〕

◆発行：ラポロアイヌネイション／北大開示文書研究会

〔ラポロアイヌネイション〕北海道十勝郡浦幌町内に居住・就業するアイヌで構成される団体。2014年から、浦幌アイヌ協会（現ラポロアイヌネイション）は奪われた先祖の遺骨返還を求めて北海道大学等を順次提訴し、裁判和解にもつぎ返還された合計103体の遺骨を浦幌町の墓地に再埋葬。2017年、北米サーモンピープルを訪ねて彼らの漁獲権をめぐる闘いについて学ぶ。2020年にラポロアイヌネイションと改称し、同年8月、サケ捕獲権確認訴訟を起こし、市民による支援に支えられて継続中です。

〔北大開示文書研究会〕小川隆吉エカシが、2008年に北海道大学から開示を受けた多数の文書を精査して、アイヌ墓地「発掘」の真実を明らかにすることを目的に発足した会。アイヌの遺骨返還・再埋葬の活動の支援や、先住権としてのサケ捕獲権をはじめとする自然資源に対するアイヌの権限の獲得のための活動や訴訟への支援を行っています。

〔もくじ〕

大地と河に印されたサーモンピープルの歴史

第1章 サーモンピープルを訪ねる旅

加藤博文

I 闘うトライブのかなめ

—— 北西インディアン漁業委員会

II サケとクジラの捕獲権を回復

—— マカトライブ

III ダムをこわしエルワ川にサケを呼び戻す

—— ローワーエルワクララムトライブ

第2章 先住民にサケを獲る権利はあるか？

アメリカにおける先住民の主権とサケ捕獲権

チャールズ・ウィルキンソンさんの日本講演

第3章 アイヌ・サケ捕獲権確認請求訴訟

定価〔本体価格 1300円＋税〕

A5変型192ページ
ISBN978-4-902591-42-2 C0036

〈ご注文〉

北大開示文書研究会へお申込み下さい(下記)
※書店でもご注文いただけます。

〔発売〕有限会社 かりん舎
〔TEL〕011-816-1901
〔email〕info@kwarin.jp
〔web〕http://kwarin.jp/

注文方法

料 金 1冊 1430円(定価1300円＋税)

▶10冊以上ご注文の場合は2割引で、1冊1140円(税込)。販売・普及にご協力ください。

送 料 〈1冊〉180円 〈2～4冊〉370円 〈5～9冊〉520円 〈10冊以上〉無料(当会の負担)

注 文 振替用紙にお名前・送付先・電話番号を記入し、料金・送料の合計をご入金ください。
ゆうちょ銀行振替口座:02790-1-101119 口座名:北大開示文書研究会

問い合わせ 北大開示文書研究会 事務局長 三浦忠雄

TEL/FAX:0164-43-0128 mail:ororon38@hotmail.com